



令和8年1月7日
中部地方整備局
清水港湾事務所

東海大学の学生が清水港を見学します ～東海大学との相互連携・協力協定に基づく海洋教育の取組～

清水港湾事務所は、持続可能で活力ある国土・地域づくり及び地域社会への貢献に向けて、東海大学静岡キャンパスと相互に連携・協力するための協定を令和5年3月24日に締結しました。(参考1)

この協定に基づき、東海大学では「海洋政策」の授業が本年度秋学期に開講されており、清水港湾事務所長 出水孝征、同大学海洋学部教授 脇田和美が、清水海上保安部長 櫻谷誠の協力も得て授業を行っています。

上記授業の一環として、履修学生を対象に、清水港 新興津コンテナターミナルや清水海上保安部巡視船おきつの見学会を1月15日に開催します。授業で学んだ港湾物流や海上保安業務について現場の理解を深めてもらうことで、海洋教育・海洋人材育成に繋げます。

1. 開催概要

令和8年1月15日(木) ※見学は2班に分かれて交互に行います。

＜第1班＞ 9:40～10:30…見学① 新興津コンテナターミナル
10:50～11:50…見学② 清水海上保安部巡視船おきつ
＜第2班＞ 9:30～10:30…見学② 清水海上保安部巡視船おきつ
10:50～11:40…見学① 新興津コンテナターミナル

2. 参加者

東海大学 「海洋政策」履修生 約70名(予定)

3. 取材

取材を希望される場合は、別添「取材申込書」により、1月13日(火)12時までにお申し込み下さい。※集合場所、時間は別紙1、別紙2を参照

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

企画調整課 舟橋(ふなばし)、河合(かわい) / TEL: 054-352-4148

メール送信先 : pa.cbr-shimizukikaku@mlit.go.jp

(国土交通省中部地方整備 清水港湾事務所 企画調整課 宛)

取材申込書

※取材をご希望の場合は、事前に以下の欄にご記入のうえ、電子メールにて送信いただけます。

| | |
|--|--------------------------------|
| 報道機関名 | 会 社 名 : _____ 部 署 名 : _____ |
| 取材者 ※全員分の氏名・役職を 記入願います。 ※お車でお越しの場合 は車種と自動車ナンバー を記入願います。 | 代表者氏名 : _____ 役職 : _____ |
| | 同行者氏名 : _____ 役職 : _____ |
| | 同行者氏名 : _____ 役職 : _____ |
| | 車種 : _____ |
| | 自動車ナンバー : _____ |
| | 連絡先 ※代表者の連絡先を記 入願います。 |

申込締切 : 令和8年1月13日(火)12:00 必着

【注意事項】

- SOLAS 条約管理区域内に立ち入るため期日までの申請を必須とします。 当日の飛び込み受付は致しません。
- 取材時は必ず腕章または身分証明証の着用をお願いします。

施設位置図



見学する施設の位置



見学①：新興津コンテナターミナル



国土地理院地図電子国土 web (<http://maps.gsi.go.jp>) を基に作成

見学②：清水海上保安部巡視船おきつ

- 取材は、第 1 班の行程にて対応させていただきます。
- 取材者は、見学①の SOLAS 管理ゲート前に 9:25 までに集合ください。
見学②の取材については、見学①の終了後、現地に集合ください。
- 会場移動にあたっての交通手段や駐車場については、ご自身で確保をお願いします。

見学施設の紹介



新興津コンテナターミナル



清水海上保安部巡視船おきつ

○協定の目的

この協定は、清水港湾事務所と東海大学がこれまで長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、より緊密かつ組織的な連携・協力の推進・強化を図るものである。

清水港湾事務所にあっては、社会資本整備・維持の推進による持続可能で活力ある国土・地域づくりについて、東海大学にあっては、教育・研究及び地域社会への貢献について、相互に連携・協力するため必要な事項を定める。



位置図



東海大学における清水港湾事務所職員による
講義の様子(R7.12.4)

連携・協力事項

- (1) 東海大学が実施する教育・研究及び地域社会への貢献に関すること
- (2) 清水港湾事務所が実施する社会資本整備・維持についての知見に関すること
- (3) その他、両機関が必要と認める事項